

令和2年度

# 事業報告書

自：令和02年4月1日

至：令和03年3月31日

公益財団法人 日本食品化学研究振興財団

# 目 次

I	事業概要	1
II	事業の実施状況	1
	1 助成事業（公1事業）	1
	（1）研究助成事業	1
	（2）シンポジウム開催等助成事業	1
	（3）奨学助成事業	2
	2 情報収集、提供（公3事業）	2
	（1）ホームページによる情報提供	2
	（2）研究成果報告書の発刊	2
	3 調査研究事業（公2事業、収益事業）	3
	（1）研究機関等からの受託事業	3
III	管理運営業務	3
	1 会議の開催	3
	2 令和2年度主要業務	3
IV	組 織	3
V	附属証明書	3
	(資料)	
	別紙1 平成2年度（第27回）研究助成金交付対象者	・・・ 4
	別紙2 令和3年度（第28回）研究助成金交付対象者	・・・ 6
	別紙3 平成2年度シンポジウム開催等助成金交付対象者	・・・ 8
	別紙4 令和3年度シンポジウム開催等助成金交付対象者	・・・ 9
	別紙5 公益財団法人日本食品化学研究振興財団ホームページ コンテンツ	・・・ 10
	別紙6 令和2年度主要事業記録	・・・ 11
	別紙7 組織	・・・ 12

# 令和2年度 事業報告書

## I 事業概要

- ・令和2年度の助成事業については、令和元年度に引き続き公益目的事業である食品化学に関する研究・シンポジウム開催等に対する助成事業を進めるとともに、海外から日本への留学及び日本の研究者の海外への留学に係る奨学助成事業を実施した。
- ・情報提供事業については、食品添加物その他食品化学に関する情報の収集とホームページ上での提供を令和元年度に引き続き実施した。
- ・調査研究事業については、食品添加物指定等申請のための安全性調査事業を受託した。
- ・本年度は、新型コロナウイルス感染症パンデミックに伴い、助成金贈呈式の中止や理事会の書面開催等の所要の対応をとりつつ事業を実施した。

## II 事業の実施状況

### 1 助成事業（公1事業）

#### (1) 研究助成事業

##### 1) 令和2年度研究助成

令和2年3月に開催された選考委員会において選考し、同月開催の理事会にて決定した助成金交付対象27件に対して、同年5月、研究助成金（総額2,200万円）を交付した。  
（交付対象者及び助成額は「別紙1」のとおり）

##### 2) 令和3年度研究助成選考

###### ① 募集公告

令和2年9月、本財団の助成対象の研究分野に関連のある専門誌（日本食品化学学会誌等9誌）及び関係学会（日本食品化学学会他11学会等）のホームページに当該募集公告の掲載を依頼すると共に、令和2年10月本財団ホームページにおいて募集公告を掲載し、助成対象者の公募を行った。

###### ② 研究課題

令和2年度に引き続き、一般研究と課題研究（予め本財団が研究分野を定め、その分野内で申請者が課題を定めて行う研究）とに分けて助成申請の募集を行った。

###### ③ 申請受付

令和2年11月15日～令和3年1月15日の2か月間、助成申請を募集し、55件（一般研究26件、課題研究29件）の申請を受理した。

###### ④ 選考委員会審査

令和3年3月4日開催の第25回選考委員会において審査を行い、一般研究8件、課題研究7件の助成金交付対象者を選考した。

###### ⑤ 理事会決定

令和3年3月8日開催の第47回定時理事会において、選考委員会の選考結果に基づき審議を行い、15件（総額750万円）の研究助成金交付を決定した。  
（交付対象者及び助成額は「別紙2」のとおり）

#### (2) シンポジウム開催等助成事業

##### 1) 令和2年度前期（令和2年4月～令和2年9月）

令和2年度研究助成と並行して、前期シンポジウム助成の公募、選考、助成決定を行い、令和2年4月、1件に助成金（総額80万円）を交付した。

（交付対象者及び助成額は「別紙3」のとおり）

2) 令和2年度後期（令和2年10月～令和3年3月）

令和2年度後期におけるシンポジウム開催等の助成対象者を募集するため、専門学会誌及び関係団体ホームページ並びに本財団ホームページに募集公告を掲載した。

令和2年7月1日～7月31日の間募集を行い、令和2年8月28日開催の第24回選考委員会で選考を行い、9月11日開催の第44回臨時理事会で助成対象者を決定し、同年10月、3件に助成金（総額70万円）を交付した。

（交付対象者及び助成額は「別紙3」のとおり）

3) 令和3年度前期（令和3年4月～9月）

令和3年度研究助成と並行して、令和3年度前期シンポジウム助成の募集公告、募集、助成対象の選考、助成決定を行い、3件（125万円）の助成を決定した。

（交付対象者及び助成額は「別紙4」のとおり）

(3) 奨学助成事業

1) 令和2年度

令和2年度は、平成28年度の交付開始から5年目となる。

令和2年度は、令和元年度において助成決定された海外からの日本への留学生1名及び日本から海外への留学生1名、計2名について助成（総額230万円）を行った。

2) 令和3年度

令和2年9月15日～10月31日の間、本財団ホームページに募集公告を掲載するとともに、関係学会等ホームページに募集公告掲載を依頼することにより公募を行ったが、令和3年度の奨学助成募集への応募はなかった。

2 情報提供事業（公3事業）

(1) ホームページによる情報提供 (<https://www.ffcr.or.jp/>)

令和2年3月31日以降の食品添加物指定8品目、残留基準値の新規制定及び改正（農薬等47品目）などの最新の行政施策をホームページに反映させるとともに、ホームページ掲載内容の継続的な更新・充実を図った。

ホームページへの内容等に関する利用者からの照会（180件）に対応した。

ホームページの掲載情報の概要は「別紙5」のとおりである。

(2) 研究成果報告書の発刊

令和元年度の研究助成者から提出された研究報告書を取りまとめた「日本食品化学研究振興財団 第26回（令和元年度）研究成果報告書」を令和2年12月25日刊行し、当該研究者をはじめ、厚生労働省及び同省研究所、国立国会図書館、各都道府県衛生研究所、関係団体等へ配付した。

### 3 調査研究事業（公2事業・収益事業）

#### (1) 受託事業

公的研究所より委託を受け、2品目について食品添加物指定及び使用基準改正のための安全性に関する調査を行い、報告書を取りまとめた。

### III 管理運営業務

- 1 会議の開催 ・理事会 5回（定時理事会2回、臨時理事会3回）  
・評議員会 2回（定時評議員会1回、臨時評議員会1回）  
・選考委員会 2回

#### 2 令和2年度主要事業

令和2年度の主要事業については、「別紙6 令和2年度主要事業記録」のとおりである。

### IV 組織

令和2年度末における本財団の組織については、「別紙7」のとおりである。

### V 附属明細書

「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書については、記載すべき「事業報告の内容を補足する重要な事項」はない。

## 令和2年度(第27回) 研究助成金交付対象者

## 1:一般研究

交付対象者	研究課題	助成額 (万円)
京都府立医科大学大学院医学研究科 病院助教 岡村 拓郎	トランス脂肪酸の腸-肝連関を介した2型糖尿病発症機構の解明 -統合オミクス解析を用いて-	70
愛媛大学理学部 教授 長岡 伸一	食品における酸化防止剤の能力を評価する方法の実用化に向けた発展研究	70
公立小松大学保健医療学部 教授 平山 順	食品添加物クルクミンによる体内時計の調節機構の解明	70
山口大学共同獣医学部 助教 今井 啓之	既存食品添加用色素を用いた胚移植の操作性及び視認性の向上	70
北海道医療大学薬学部 准教授 寺崎 将	フコキサンチン添加ビスケットによるマウス大腸腫瘍微小環境抑制制御機構の解明	90
東京農業大学応用生物科学部 准教授 岩槻 健	新規サル消化管オルガノイドを用いた食品添加物が消化管上皮に与える影響の解析	90
国立医薬品食品衛生研究所食品部 主任研究官 鍋師 裕美	食品中のアクリルアミド生成の低減化を目指した調理加工条件に関する研究	80
中部大学応用生物科学部 教授 堤内 要	固体NMRを用いたクチナシ青色素の構造解析	110
有明工業高等専門学校創造工学科 准教授 内田 雅也	メダカ非アルコール性脂肪肝炎(NASH)モデルを用いた食品由来PPARリガンド成分と治療薬の同時摂取による効果の評価	70
国立医薬品食品衛生研究所食品添加物部 研究員 西崎 雄三	qNMR外部標準法によるアントシアニンの定量分析値の信頼性の向上	80
京都大学大学院生命科学研究科 准教授 増田 誠司	食品添加物として使用されるフラボノイドによる選択的スプライシング制御機構の解明	70
三重大学大学院生物資源学研究科 准教授 柴田 敏行	新規エキソ型アルギン酸リアーゼを活用した新しいアルギン酸定量法の開発	60
広島大学大学院総合生命科学研究科 准教授 矢中 規之	グリセロホスホコリンの吸収、および体内代謝に関する解析	70
京都大学大学院農学研究科 教授 井上 善晴	食品添加物 $\epsilon$ -ポリ-L-リジンの細胞周期阻害による抗真菌活性発現機構の解明	70
神戸学院大学薬学部 助教 小野寺 章	人工甘味料が免疫組織・免疫細胞の機能に与える質的量的影響の解明	90
東京農業大学応用生物科学部 教授 美谷島 克宏	食品中化合物に対する三次元培養組織を用いた安全性評価系の確立に向けた動物試験による安全性評価成績との比較検討	90
静岡県立大学薬学部 教授 黒川 洵子	食品・食品添加物の品質保証に関する薬学教育研究普及拡大のための調査研究	70

一般研究 17件 1,320万円

## 2: 課題研究

### 2-1 食品添加物の体内動態および生体に対する影響に関する研究

交付対象者	研究課題	助成額 (万円)
日本医科大学微生物学・免疫学教室 講師 若林 あや子	ミョウバンによる腸管上皮損傷に伴う炎症・アレルギー誘導性損傷関連分子の放出の解析と免疫学的安全性評価の検討	100
島根大学医学部 講師 小谷 仁司	高齢マウスを用いた抗癌剤治療時におけるアルギニン摂取の重要性検証と体内動態・組織分布評価	120
東京理科大学薬学部 嘱託助教 大嶋 直浩	食品由来高極性成分の定量法の開発と血中動態解明への展開	70

### 2-2 食品添加物を利用した食品および食品素材の保存・安定性向上に関する研究

交付対象者	研究課題	助成額 (万円)
摂南大学農学部 准教授 平原 嘉親	食品包装開封後における食品添加物の安定性に関する基礎的研究	70
新潟大学研究推進機構超域学術院 特任助教 筒浦 さとみ	米飯の食中毒菌による汚染量がグリシンの効果に与える影響及びグリシンと併用可能な微生物抑制法の探索	70

### 2-3 各種精油、果汁、果実等の天然香料の基原動植物および食品に含まれるフレーバー成分の化学的研究

交付対象者	研究課題	助成額 (万円)
東京農工大学大学院工学研究院 生体機能科学部門 助教 福谷 洋介	哺乳類嗅覚応答システムを模倣したフレーバー客観的評価技術開発	110
東京農工大学大学院工学研究院 生命機能科学部門 特任助教 辻本 恭	ミカン属植物に含まれるシネフリンおよび類縁アルカロイドの定量分析	70

### 2-4 高齢者・病者・障害者等のための食品添加物を利用した食品・食品成分補給方法の開発研究

交付対象者	研究課題	助成額 (万円)
兵庫県立大学大学院生命理学研究科 助教 澤井 仁美	鉄欠乏症改善のための食品添加物の利用効果の検証とその作用機序の解明	120
武庫川女子大学植物栄養科学部 助教 中村 衣里	大豆タンパク質にアミノ酸栄養強化剤および増粘多糖類を添加した高齢者・病者向けプロテイン飲料の開発	80
高知工業高等専門学校ソーシャルデザイン工学科 教授 秦 隆志	ファインバブルを用いた新たな食感デザインに関する研究	70

課題研究 10件 880万円  
合計 27件 2,200万円

## 令和3年度(第28回) 研究助成金交付対象者

## 1:一般研究

交付対象者	研究課題	助成額 (万円)
山口大学共同獣医学部 助教 今井 啓之	既存食品添加用色素を用いた胚移植の操作性及び視認性の向上	50
京都大学大学院農学研究科 助教 松居 翔	単純糖質嗜好性抑制作用を有する希少糖の探索とその応用	50
国立医薬品食品衛生研究所安全性予測評価部 室長 小島 肇	食品添加物の動物実験を用いない安全性評価のSystematic reviewに関する研究	50
東京農工大学大学院工学研究院 特任助教 辻本 恭	ミカン属植物に含まれるアルカロイドの分析とメタボローム解析	50
京都府立医科大学大学院医学研究科 病院助教 中西 尚子	メタボロミクスを用いた糖アルコールの糖代謝改善メカニズムの解明	50
東京大学大学院農学生命科学研究科 准教授 山内 祥生	ヒトiPS細胞由来骨格筋細胞を用いた食品添加物ビタミン類の筋萎縮抑制効果に関する研究	50
岡山県立大学保健福祉学部 教授 山本 登志子	ナツメグ成分Malabaricone Cによる脂質メディエーター合成阻害と慢性炎症性疾患予防効果	50
神戸学院大学薬学部 助教 小野寺 章	蛍光標識人工甘味料の創製と安全性研究への応用	50

一般研究 8件 400万円

## 2:課題研究

## 2-1 食品添加物の体内動態および生体に対する影響に関する研究

日本薬科大学 講師 瀧沢 裕輔	カラメル色素Ⅲ・Ⅳに含まれる4-Methylimidazoleの消化管上皮細胞への影響	50
東京医科歯科大学医歯学総合研究科 助教 田中 大介	人工甘味料の摂取により活動し、その嗜好を駆動する神経細胞の全脳マッピング	50
日本医科大学 講師 若林 あや子	ミョウバンによる腸管上皮損傷に伴う炎症・アレルギー誘導性損傷関連分子の放出の解析と免疫学的安全性評価の検討	50

## 2-2 食品添加物を利用した食品および食品素材の保存・安全性向上に関する研究

名城大学理工学部 研究員 村上 和弥	食用油中シス体カロテノイドの安定性評価と安定性向上に最適な抗酸化物質の選定	50
--------------------------	---------------------------------------	----

## 2-4 高齢者・病者・障害者等のための食品添加物を利用した食品・食品成分補強方法の開発研究

岩手医科大学 准教授 黒瀬 雅之	安心して在宅でトロミ剤を提供するためのトロミ度計測マドラーの開発	50
------------------------	----------------------------------	----



2—6 食品化学分野における代替えタンパク質(Alternative Protein)の特性、機能、安全性等の研究

鳥取大学農学部 助教 美藤 友博	食用昆虫の栄養評価ならびにビタミンB12アナログの安全性に関する研究	50
北里大学獣医学部 講師 落合 優	食用昆虫タンパク質の生体内消化性および食品加工時の物性・抗菌性に及ぼす影響	50

課題研究 7件      350万円  
合      計15件      750万円

## 令和2年度シンポジウム開催等助成金交付対象者

(前期)

主催者及び申請者	シンポジウム等の名称・テーマ	助成額 (万円)
日本食品化学学会 (奈良先端科学技術大学院大学教授) 金谷 重彦	日本食品化学学会 第26回総会・学術大会	80

小 計 80万円

(後期)

主催者及び申請者	シンポジウム等の名称・テーマ	助成額 (万円)
日本薬学会レギュラトリーサイエンス部会 (岡山大学医歯薬学総合研究科教授) 小野 敦	第6回次世代を担う若手のためのレギュラトリーサイエンスフォーラム	20
日本食品衛生学会 創立60周年記念第116回学術講演会実行委員長 小西 良子	創立60周年記念第116回学術講演会	30
日本食品化学学会 (医薬品医療機器総合機構国祭業務調査役) 日下部 哲也	日本食品化学学会 第36回食品化学シンポジウム テーマ:食品行政の動向と機能性表示食品を取り巻く環境	20

小 計 70万円

合 計 150万円

## 令和3年度シンポジウム開催等助成金交付対象者

(前期)

主催者及び申請者	シンポジウム等の名称・テーマ	助成額 (万円)
食品ハイドロコロイド研究会 (東京海洋大学教授) 松川 真吾	食品ハイドロコロイド研究会講座(セミナー、シンポジウム及び国際Mini-Sympo)	40
日本ポリフェノール学会 (岐阜大学教授) 長岡 利	日本ポリフェノール学会 第14回学術集会 基調講演、シンポジウムやポスターセッション	25
日本食品化学学会 (国立医薬品食品衛生研究所病理部部長) 小川 久美子	日本食品化学学会 第27回総会・学術大会	60

合 計 125万円

公益財団法人日本食品化学研究振興財団ホームページ (<https://www.ffcr.or.jp/>)

## 主なコンテンツ

### (1) 食品添加物 関係情報

#### ①リスト類

指定添加物リスト[日・英]、既存添加物リスト[日・英]、天然香料基原物質リスト[日・英]、使用基準一覧[日・英]、指定添加物・既存添加物検索のための一覧表 等

#### ②食品添加物の規格

第9版食品添加物公定書 及び 同追補[日・英] (厚労省、国立衛研へリンク)

#### ③新食品添加物の指定

指定及び使用基準改正に関する指針[日・英]、指定等要請資料作成の手引き[日・英] 等

#### ④食品添加物の安全性

JECFA による安全性評価、既存添加物の安全性評価、食品添加物一日摂取量調査 等

#### ⑤食品添加物の表示 (消費者庁へリンク)

### (2) 残留農薬 関係情報

#### ①残留農薬ポジティブリスト制度

- ・ポジティブリスト制度について[日英]
- ・食品に残留する農薬等の限度値一覧表 <残留農薬基準値検索システム> [日英]
- ・抗生物質・合成抗菌剤、除外物質一覧、分析試験法[日英] 等

#### ② 食品中の残留農薬検査結果、畜産食品の残留物質モニタリング検査結果

### (3) 容器・包装 関係情報

- ・食品用器具・容器包装のポジティブリスト制度関係資料

### (4) 研究助成成果報告

第6回(平成12年度)助成分以降は全ての助成課題について邦文抄録を掲載

### (5) 厚生労働省食品化学情報

食品化学に関する主要行政通知を掲載 (昭和43年以降)

### (6) 食品安全委員会情報

食品添加物評価書一覧等 (安全委員会へリンク)

## 令和2年度主要事業記録

年月日	主要事業記録
令和2年5月8日	第43回定時理事会（書面表決） ・令和元年度事業報告及び決算報告の承認に関する件 ・代表理事職務執行状況の報告、他
令和2年5月18日	第27回研究助成金贈呈式→中止
令和2年5月26日	第12回定時評議員会（書面表決） ・令和元年度事業報告及び決算報告の承認に関する件
令和2年6月17日	新規食品添加物2品目に係る指定要請に向けた調査研究を受託（納期：令和2年12月）
令和2年7月1日	令和2年度（後期）シンポジウム開催等助成申請の受付（7月中）
令和2年8月28日	第24回選考委員会（書面表決） ・令和2年度（後期）シンポジウム開催等助成対象の選出に関する件
令和2年9月11日	第44回臨時理事会（於：三栄源エフ・エフ・アイ(株)本社） ・令和2年度（後期）シンポジウム開催等助成対象の選出に関する件 ・選考委員の選任、就業規則の変更承認 ・臨時評議員会及び臨時理事会開催に関する件 ・専務理事、理事、評議員の変更に関する件 ・代表理事職務執行状況の報告、他
令和2年9月15日	令和3年度奨学助成申請の受付（10月31日まで）
令和2年9月30日	第13回臨時評議員会（書面表決） ・理事及び評議員の選任、定款の一部変更に関する件
令和2年11月1日	第45回臨時理事会（書面表決） ・代表理事（専務理事）の選任に関する件
令和2年11月15日	令和3年度研究助成及び前期シンポジウム開催等助成申請の受付（令和3年1月15日まで）
令和2年12月16日	第46回臨時理事会（書面表決） ・選考委員の選任に関する件
令和2年12月25日	研究成果報告書（第26回・令和元年度）刊行
令和3年3月4日	第25回選考委員会（於：三栄源エフ・エフ・アイ(株)本社）＜ウェブ出席あり＞ ・令和3年度研究助成対象及び（前期）シンポジウム開催等助成対象の選出に関する件、他
令和3年3月8日	第47回定時理事会（於：三栄源エフ・エフ・アイ(株)本社）＜ウェブ出席あり＞ ・令和3年度事業計画及び収支予算の承認に関する件 ・令和3年度研究助成対象及び（前期）シンポジウム開催等助成対象の決定に関する件 ・代表理事職務執行状況の報告、他

## 組 織

令和3年3月31日現在

## 1 役員

理事長	清水 孝重	三栄源エフ・エフ・アイ株式会社 代表取締役会長
専務理事	伏見 環	公益財団法人 日本食品化学研究振興財団
理事	安達 修二	京都先端科学大学バイオ環境学部食農学科 特任教授
〃	一色 賢司	一般財団法人 日本食品分析センター 学術顧問
〃	神崎 浩	岡山大学大学院環境生命科学研究科 教授
〃	黒川 達夫	日本OTC医薬品協会 理事長
〃	小林 資正	大阪大学 名誉教授
〃	清水 康弘	三栄源エフ・エフ・アイ株式会社 代表取締役社長
〃	清水 玲子	三栄源エフ・エフ・アイ株式会社 取締役
〃	下村 講一郎	東洋大学 名誉教授
〃	伏木 亨	龍谷大学農学部 教授
監事	尾川 雅清	シリウス法律事務所 弁護士
〃	妙中 茂樹	妙中公認会計士事務所 公認会計士

## 2 評議員

〃	井上 健夫	三栄源エフ・エフ・アイ株式会社 取締役常務執行役員
〃	堤 康央	大阪大学大学院薬学研究科 教授
〃	中江 大	東京農業大学応用生物科学部 教授
〃	中垣 俊郎	一般財団法人医薬品医療機器レギュトリーサイエンス財団 理事長
〃	船見 孝博	三栄源エフ・エフ・アイ株式会社 執行役員
〃	松浦 壽喜	武庫川女子大学食物栄養科学部 教授
〃	山崎 裕康	(前) 神戸学院大学薬学部 教授

## 3 選考委員

〃	伊藤 美千穂	京都大学大学院薬学研究科 准教授
〃	井部 明広	実践女子大学生生活科学部 教授
〃	今井田 克己	香川大学 理事・副学長
〃	梅村 隆志	ヤマザキ動物看護大学動物看護学部 教授
〃	小関 良宏	東京農工大学大学院工学研究院生命機能科学部門 教授
〃	合田 幸広	国立医薬品食品衛生研究所 所長
〃	小林 資正	大阪大学 名誉教授
〃	近澤 和彦	厚生労働省医薬・生活衛生局 食品基準審査課長
〃	堤 康央	大阪大学大学院薬学研究科 教授
〃	船見 孝博	三栄源エフ・エフ・アイ株式会社 執行役員

## 4 事務局

事務局	田邊 伸也	事務局長
〃	中村 明淑	
〃	根岸 礼子	
東京分室	高山 昌也	顧問
〃	鵜狩 真理子	